

「龍南中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

龍郷町立龍南中学校

2 学年・人数

1年生から3年生（計120人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

9月14日（木） 14:00～15:50 教室

9月21日（月） 14:00～15:50 教室

10月19日（木） 14:00～15:50 校庭

(2) 発表の日時・場所

10月14日（土） 9:00～11:20 体育館

11月5日（日） 11:30～11:50 校庭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

八月踊り

(2) 由来

八月踊りは、旧暦8月に稲の収穫を祝って踊られる踊りである。日程は集落毎に異なり、10月下旬から11月初旬の数日かけて、時には夜通しで集落内の全戸を順に回りながら広場や庭で踊る習わしでした。現在は、簡略化されて、集落内の広場や新築で引っ越してきた家の庭で踊られることが多い。

今年度から八月躍りが復活し、各地域で八月躍りが開催された。

本校では、総合的な学習の時間で八月躍りや島唄について調べ学習を行い、学習発表会で発表した。また体育大会で、地域の協力をいただき八月踊りを楽しむ場を設定した。

(3) 構成等

今年度の体育大会から、各集落で八月踊りを楽しむ時間を設定した。総合的な学習の時間で八月踊りや島唄などについて異年齢集団で学ぶ機会を確保し、学習発表会で調べたことを発表し、体育大会で披露することとした。自分が住んでいる地域の八月踊りについて、各地域の公民館で行われる八月踊りの練習に参加するように呼びかけも行った。

5 保存会や地域との連携の具体

各地域の八月踊りの練習日時を学校で周知し、地域の公民館で行われる月1回の練習に参加するように呼びかけた。また、島唄については地域の方を招聘して練習を行った。体育大会当日は、地域の方と連携して、多くの方が参加して各集落で輪をつくって八月踊りを楽しむことができた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

生徒が主体的に学ぶ機会とするために、夏休みを利用した学びを奨励し、地域の八

月踊りの練習に積極的に参加するように周知した。また、総合的な学習の時間で八月踊りについて学んだことを教えあう機会を設定し、主体的な学びにつながるようにした。生徒が地域の八月踊りで体育大会のパンフレットを配付し、体育大会の八月踊りに地域の方の参加を呼びかけた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【異年齢集団での練習】



【地域の方から学ぶ】



【地域で学んだことを教える】



【学習発表会の発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【3年生徒】

総合的な学習の時間で後輩と一緒に八月踊りや島唄について学ぶことができ、楽しかった。今年は、久しぶりに行われた地域の八月踊りにも参加し、八月踊りが楽しいと感じた。どうにか、歌詞を覚えて一緒に歌って踊りたい。

【教職員】

一緒に楽しく学び、一緒に踊ることができて幸せでした。

【地域の方から】

生徒たちが真剣でありながら、楽しく踊ろうとする姿が印象的でした。どうにか地域でも踊る機会を設けたい。

【保護者の方から】

本土出身の私が、奄美の文化に触れることができ、とても良い経験になりました。